

令和 2 年度

美浦村社会福祉協議会事業計画書

(自) 令和 2 年 4 月 1 日

(至) 令和 3 年 3 月 3 1 日

社会福祉法人 美浦村社会福祉協議会

I 基本方針

少子高齢化が進行する中、美浦村高齢者福祉計画によると、2025年の村の高齢化率は33.3%まで上昇し、3人に一人は65歳以上となる見込みです。加えて、単身高齢者世帯の増加や地域でのつながりの希薄化など、地域社会を取り巻く環境はますます厳しくなっています。また、孤独死・認知症高齢者・生活困窮者の増加など、地域の福祉課題は複雑・多様化しており、社会福祉協議会に対する住民の要望は、今後、質・量ともにますます増加していくことが予想されます。

そのような中、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるように、かねてから地域の中でお互いに支えあい、助けあうといった思いやりの気持ちを醸成していくとともに、人と人とのつながりや結びつきを深めていくような、きめ細やかな地域福祉が重要です。

また、社会福祉協議会には、地域福祉推進の中核的役割を果たすのみならず、サービスの創意工夫と他の事業主体で対応が困難な福祉ニーズに対しても果敢に挑戦することが求められています。

生活支援分野においては、様々な課題がある中、令和元年度では日常生活自立支援事業の利用数が増加し、内容も借金や浪費などのトラブルに対応するなど、高度な支援内容が求められています。フードバンク事業においては従来のきずなBOX・フードバンク茨城からの支援に加え、株式会社カスミから食品の寄付を頂くようになり、生活困窮者の増加に対応する食糧支援の体制が整ってきました。また、生活支援体制整備事業のより一層の推進に向けて、美浦村と連携・協力を図りながら、ボランティア団体・老人クラブ・行政区長・民生委員児童委員協議会など福祉活動を行う関係団体等とともに、地域における福祉課題解決のために積極的に取り組んでまいります。

介護保険事業分野においては、超高齢社会に突入し、介護のニーズが増大する一方で、小・零細を中心とした事業者の淘汰が加速し、介護サービスも、時代の変化についていけないところは生き残れない時代となっています。当会も例外ではなく、介護事業においては経営の改善が求められており、その一環として、従来のデイサービスの内容を一部変更し、特色を出すことで他施設との差別化を図り、村と連携しながら多様なサービスの提供に取り組んでまいります。

障害者福祉事業においては、株式会社カスミの協力の下、地域社会での自立や就労を目的とした施設外就労を令和2年より開始いたしました。また、障害のある方のニーズに基づく一体的・総合的な支援を受けられるよう、村と協議した結果、相談支援事業を新規に立ち上げることとなりました。障害のある方に対し、地域にある様々なサービスや資源を調整し、具体的支援を記述したサービス利用計画を作成することで、その人が望む地域生活が送れるよう支援を強化してまいります。

一方、本会の財政については、介護保険事業における事業収入・社協会費・共同募金の減少、障害者福祉事業における新規事業の立ち上げによる人件費の増加などにより、極めて厳しい状況にあります。そのような状況にあることを踏まえ、事業の見直しを行うなど、改善に取り組んでまいります。

このような中、社会福祉協議会としては、地域の福祉課題や住民のニーズを把握し、行政・民生委員など各種福祉団体等とともに「誰もが安心して暮らすことができる地域福祉」の実現に向けて取り組んでまいります。

II 重点推進事項

1. 職員一人ひとりが自己の責務・役割を十分認識し、個々の自己研鑽を積みレベルアップをはかることで、社会福祉協議会全体の資質向上を目指す
2. 社協だよりやホームページ・SNS等の広報媒体による情報発信に加え、マスコットキャラクター「みほちゃん」を活用した積極的なPR活動を行い、社会福祉協議会活動の住民への認知及び理解・浸透を図る
3. 日常生活自立支援事業における生活支援、フードバンクを中心とした生活困窮者への支援など住み慣れた地域や家において自立した生活が送れる仕組みを築く
4. 通所介護事業における、生活機能を改善するための運動器の機能向上や栄養改善等のプログラムに特化した通所型サービスCの導入ならびに事業の円滑な運営、経営の安定・健全化を図る
5. 美浦村自立支援センターホープにおける、相談支援事業の新設ならびに施設外就労等の実施により、事業の円滑な運営、経営の安定・健全化を図る
6. 小さい子供から高齢者まで、幅広く「生きがい」を持てる事業の推進、及び様々な福祉課題の対応を図る
7. 核家族化、生活の多様化により稀薄になった隣近所・地域の繋がりを取り戻すような運動を展開し、地域コミュニケーションの「輪」を広げていく

1. 地域福祉の推進

(1) 地域福祉活動の推進

ア 地域見守り活動の推進

誰もが住み慣れた地域で安心・安全に生活できるよう、村老人クラブ連合会の協力を得て「みほ見守り隊」を結成し、下校児童の見送りやひとり暮らしの高齢者への声掛けや安否確認を行います。日常生活における防犯、社会的孤立の防止に向けたシステムを推進します。

【内 容】

- ① 下校児童の見送り、声かけによるあいさつ運動の実施
- ② ひとり暮らし高齢者宅訪問による、孤立防止・安否確認の実施
- ③ その他防犯、社会的孤立防止活動に関すること

【予算額】 710千円

【財源内訳】 社協会費：230千円 村補助金：280千円 善意銀行：200千円

【効 果】

1. 下校時に通学路に立つことで、犯罪抑止力の効果に加え、互いに声を掛け合うことによる児童たちの心の成長や、地域の活性化などをはかります。
2. ひとり暮らし高齢者宅を訪問し、交流を行うことで、社会的孤立の防止や、地域の活性化などをはかります。

イ ボランティアセンターの運営／みほちゃん広場の開催

ボランティア活動及び村民活動の推進による、地域福祉向上の充実をはかるために、ボランティアセンター内に「ボランティアコーディネーター」を配置する体制を継続します。また、ボランティア関係者・有識者からなる運営委員会を設置して、村のボランティア活動の方針等について協議することで、開かれた・公平な運営に努めます。また、村内の小学生を対象に、夏季休暇中にボランティアが学習・生活支援を行う「みほちゃん広場」を開催いたします。

【内 容】

- ① ボランティア活動・村民活動を行う者の登録・台帳整備
- ② ボランティア活動・村民活動に関する啓発・普及・広報
- ③ ボランティア活動・村民活動に関する援助・指導
- ④ ボランティア活動・村民活動に関する調査・研究
- ⑤ ボランティア活動・村民活動に関する情報資料の収集・提供

- ⑥ ボランティア活動・村民活動に関する連絡調整
- ⑦ ボランティア活動保険の加入に関すること
- ⑧ 子ども応援プロジェクト事業「みほちゃん広場」の開催
- ⑨ その他、ボランティア活動・村民活動の推進、支援に関すること

【予算額】 1,076千円

【財源内訳】 社協会費：366千円 善意銀行：330千円 助成金：150千円
共同募金配分金：140千円 参加費：90千円

【効果】

1. ボランティアの需給調整やボランティアに関する相談、ボランティア団体に対する支援等を行うことで、ボランティア活動の充実と継続の促進をはかります。
2. ボランティア講座等を開催することで、新たなボランティア活動の啓発並びにボランティア活動者の育成を推進します。
3. ボランティア活動を通して、住民の目から見た地域の福祉・生活課題を発見することができます。
4. 「みほちゃん広場」の開催により、小学生及びボランティアの健全な育成を推進します。

ウ 災害ボランティアセンターの設置訓練

災害発生時における初動体制の確認と職員及びボランティアの災害対応能力、意識の向上を図ることを目的に、災害ボランティアセンター設置訓練を行います。

【内容】

- ① 災害発生時における初動体制および安否確認のシミュレーションの実施
- ② 災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルに基づく訓練
- ③ ボランティアによる炊き出しおよび配給の訓練

【予算額】 94千円 【財源内訳】 社協会費：94千円

【効果】

1. 実践的な訓練を行うことで災害発生時に迅速かつ的確な支援活動に繋がります。
2. 職員及びボランティアの災害対応能力、意識の向上を図ります。

エ 高齢者福祉関係事業

多年にわたり社会の為に尽くしてきた高齢者を敬い、長寿をお祝いします。

【内容】

- ① 敬老会の開催（村との共催）
- ② 長寿御祝い（金婚、喜寿、最高齢者祝）

【予算額】 810千円 【財源内訳】 共同募金配分金：810千円

【効 果】

1. 高齢者の福祉について関心を深め、高齢者の生活向上に努めるよう若い世代に促し、また高齢者も敬われることに感謝の念を持つことで、お互いにいきいきとした人生が送れる土壌を形成することができます。

オ 生活支援体制整備事業

介護予防・日常生活支援総合事業のサービス体制整備及び円滑な実施に向けて、多様な主体間の情報の共有、地域課題や地域ニーズの把握及び協働による資源開発等を推進するため、定期的な情報の共有及び連携の強化の場として、協議体を設置します。また、「生活支援コーディネーター」を配置し、地域資源の開発や関係者間のネットワーク構築、ニーズと取り組みのマッチングを行います。

【内 容】

- ① 地域における助け合い・支え合いの活動支援体制整備
- ② 協議体設置による関係機関の情報共有・連携強化

【予算額】 98千円 【財源内訳】 社協会費：98千円

【効 果】

1. ボランティアなど地域の多様な主体を活用し、高齢者の支援をはかります。
2. 地域の互助を高め、地域全体で高齢者の生活を支える体制づくりをはかります。

カ 地域活動拠点作りの推進

地域住民グループ等が主体となって設置する、ふれあい・いきいきサロン及び、子育てサロンの育成、振興を目的として助成を行います。また、村内に囲碁・将棋・オセロを通じた住民の交流の場を設けることを目的としたサロンを開設します。

【内 容】

- ① 活動団体に対する情報・相談・助言の提供および活動費の助成
- ② 村内に囲碁・将棋・オセロサロンを開設

【予算額】 157千円 【財源内訳】 社協会費：157千円

【効 果】

1. 地域交流を促進することで、高齢者等の引きこもり予防や不安・孤立化の解消をはかることができます。
2. 地域住民が主体的にサロン活動をおこなうことにより、身近な地域課題に対する理解や福祉に対する関心を深め地域福祉力の向上をはかることができます。

キ 社会参加推進事業

定年退職や転入等の理由で地域との繋がりが希薄な人たちをターゲットとした、

趣味講座・イベントを行います。

【内 容】

- ① 趣味講座の開催（基礎からの男性料理教室）
- ② 映画上映会の開催

【予算額】 4 2 6 千円

【財源内訳】 共同募金配分金：3 8 1 千円 参加費：4 5 千円

【効 果】

1. 趣味を通じて活動・交流の輪を広げることで、外出の機会を増やし、地域との繋がりを作ります。
2. 地域の中にとけ込んでいくことによって、身近な地域課題に対する理解や福祉に対する関心を深め、地域福祉力の向上をはかります。
3. 普段、映画館に行く機会が少ない方に対して、みんなで一緒に映画を見る機会を提供することで、映画の素晴らしさや、その感動を毎日の暮らしの中に生かして、いきいきとした日常を過ごすことができます。

ク 世代間交流事業

核家族化で接点が少なくなっている高齢者と子どもが、行事を通して世代間交流を深めることを目的としたイベントを開催します。

【内 容】

- ① 三世代輪投げ大会
- ② 保育所児と高齢者のふれあい交流会

【予算額】 3 4 2 千円 **【財源内訳】** 共同募金配分金：3 4 2 千円

【効 果】

1. 世代間の交流を深めることにより、地域の活性化をはかります。
2. 子どもたちが高齢者と交流を持つことで、敬老精神を養うことができます。
3. 高齢者が子どもたちとのふれあいを楽しみにすることで、いきいきと元気に過ごすことができます。

ケ 共同募金歳末たすけあい事業

共同募金運動の一環として地域住民や民生委員児童委員、関係機関・団体の協力のもと、新たな年を迎える時期に、だれもが地域で安心して暮らすことができるよう、地域のたすけあいやささえあいの活動を広げ、だれもが住みなれた地域で安心して暮らせるまちづくりの推進、住民相互のたすけあい運動を推進することを目的として実施します。

【内 容】

- ① 歳末地域たすけあい事業（歳末事業を行う団体へ助成）
- ② 「猫の手貸します」シルバー人材センター利用券贈呈事業
- ③ 「サンタが美浦にやってくる」クリスマスプレゼント贈呈事業

【予算額】 533千円 【財源内訳】 共同募金配分金：533千円

【効果】

1. 新たな年を迎える時期に、村民から寄せられた「たすけあいの募金」を財源に、低所得世帯、障害者、ひとり暮らし高齢者、母子父子家庭、福祉団体・ボランティア団体等への支援を行い、より一層の地域福祉増進をはかります。

コ 福祉教育・啓発活動事業

村内の小学校・中学校・特別支援学校等との連携を基盤として、福祉への理解と関心を深め、思いやりの心を育てるため、児童・生徒が身近にボランティア活動や福祉活動に取り組める福祉教育の推進に努めます。

【内容】

- ① 小学校区における福祉教育・体験等の推進
- ② 福祉ボランティア教育の推進を行う学校への助成
- ③ 小学校・特別支援学校小学部入学児童へ福祉教育下敷きの贈呈
- ④ 中学生ボランティア育成事業の実施

【予算額】 450千円 【財源内訳】 社協会費：450千円

【効果】

1. 車いす教室や高齢者疑似体験活動等の福祉教育を推進することで、幼い頃から福祉について関心を持ち、他者を思いやる、優しい心を育成します。
2. 教育機関が実施する福祉教育等の支援、及び社協主催の小中学生ボランティア育成事業の開催により、児童生徒がボランティアや福祉活動への理解と関心を深めることができます。
3. 福祉マークの記載された下敷きを配布することで、福祉マークの内容とその意味を学習することにより、低学年から福祉の心を養うことができます。
4. 敬老会や文化祭、街頭募金など社協イベント時の中学生ボランティアを募り、ボランティア活動を体験することで社会福祉への理解と関心を高め、自主的、主体的に行動する力を育成します。

サ 子ども・母子父子家庭支援事業

3人以上の子どもを育てている家庭に対し、支援金を支給します。

ひとり親家庭の児童・生徒、交通事故によって親等を失った交通遺児に入学祝い金を贈呈して、経済的側面から支援します。

おもちゃ図書館を開設し、障害の有無にかかわらず、おもちゃをとおして遊び育つ場を提供します。

【内 容】

- ① いきいき子育て支援金の支給 1～2歳児 年2万円 3歳児 年1万円
- ② 母子父子家庭入学祝金の贈呈 小学校（部）1万円 中学校（部）1万5千円
- ③ 交通遺児入学祝金の贈呈 小学校（部）2万円 中学校（部）3万円
高等学校（部）5万円
- ④ おもちゃ図書館の運営

【予算額】 635千円 **【財源内訳】** 社協会費：509千円 善意銀行：126千円

【効 果】

- 1. 第3子以降の子にかかる費用を補助することにより、次代を担う児童の確保、子どもを安心して生み育てることのできる環境づくりを行います。
- 2. 入学祝金を贈呈された児童生徒が健やかにたくましく成長し、勉学に励むことで、児童・青少年福祉の充実をはかります。
- 3. 障害のあるなしにかかわらず、共に遊び交流し育ちあう「おもちゃ図書館」という場を提供することによって、一人ひとりの違いを認め合うことのできる地域作りを行います。

シ 見舞金支給事業

暴風、豪雨、地震等の自然災害や、火災等の被害による被災者又はその遺族に対し、見舞金又は弔慰金を贈呈します。

【内 容】

- ① 居宅等が全壊、全焼又は流失 : 1世帯につき 30,000円
- ② 居宅等が半壊、半焼又は床上浸水 : 1世帯につき 10,000円
- ③ 死亡したとき : 1人につき 20,000円

【予算額】 60千円 **【財源内訳】** 善意銀行：60千円

【効 果】

- 1. 被災者の支援を行うことで、地域福祉の向上をはかります。

ス 福祉団体活動助成金交付支援事業

福祉関係団体及びボランティア団体に対し、活動費用の助成を行い活動内容の充実をはかることで、村内の地域福祉活動の推進をはかります。

【内 容】

- ① 福祉関係団体及びボランティア団体に対する活動費用の助成
※団体の種類・規模によって 2万～15万円

【予算額】 353千円 **【財源内訳】** 社協会費：353千円

【効 果】

1. 福祉団体活動を支援することで、村内における住民自身による福祉活動の推進をはかります。

セ 広報・啓発活動

福祉関係の情報提供や社会福祉協議会事業の取組等を周知することで、村民の福祉意識の高揚と社協活動に対する理解・協力を得ることを目的として、広報誌の発行・ホームページの運営を行います。また、当会イメージキャラクターである「みほちゃん」の着ぐるみを活用し、当会活動の積極的なPRをはかります。

【内 容】

- ① 広報誌 年4回発行（5月・7月・10月・1月号）
※発行部数：5,300部 村内全行政区配布 県内関係機関配布
- ② ホームページの運営（アドレス <http://www.mihoshakyo.jp/>）
- ③ イメージキャラクター「みほちゃん」の積極的な活用

【予算額】 568千円 【財源内訳】 共同募金配分金 : 568千円

【効 果】

1. 福祉関係の情報等を提供することにより、村民の福祉意識を高めます。
2. 社協活動やボランティア活動の周知を行うことにより、社協事業に対する理解と協力が得られます。
3. イメージキャラクターを浸透させることにより、社協の認知度・注目度を上げることで、社協事業に対する理解と協力を得ることをはかります。

ソ 当事者組織の運営支援

地域福祉団体の事務局として団体の円滑な運営に協力することで、地域福祉の向上をはかります。

【内 容】

- ① 村老人クラブ連合会
- ② 村母子寡婦福祉会
- ③ 村遺族会

【予算額】 なし 【財源内訳】 なし

【効 果】

1. 団体の円滑な運営に協力することで、住民自身による福祉活動の更なる推進をはかります。

(2) 福祉サービスの利用支援

ア 日常生活自立支援事業（県社協受託事業）

認知症高齢者や知的または精神障害のある方等、日常生活において支援が必要な方に対し、福祉サービスの利用手続きの支援をはじめ、日常的な金銭管理、書類等の保管などを行います。福祉サービス・行政サービス等を適切に利用できるよう援助し、地域で安心して生活が送れるように支援します。

【内 容】

- ① 福祉サービスの利用援助
- ② 日常的な金銭管理
- ③ 書類等の預かりサービス

【予算額】 1, 484千円

【財源内訳】 県社協受託金：1, 345千円 利用料：104千円 社協会費35千円

【効 果】

1. 判断能力が不十分なため日常生活が困難な方の不安を取り除くことで、地域で安定した生活が送れるよう支援します。

イ 低所得者支援事業（資金の貸付・フードバンクによる食材提供）

低所得世帯、高齢者世帯、障害者世帯等に対して、資金貸付を行います。フードバンク茨城と提携し、提供された食材を生活困窮者に無償で譲渡します。それにより経済的自立および生活意欲の助長・促進ならびに在宅福祉や社会参加の促進を図り、安定した生活が送れるよう支援します。

【内 容】

- ① 生活福祉資金貸付制度の事務処理（受付窓口）※茨城県社協が実施する制度
- ② 小口資金の貸付
貸付金の限度額 10, 000円以内 返済の見込等の条件あり
- ③ フードバンク茨城・きずなBOX・㈱カスミより提供された食材の無償譲渡

【予算額】 272千円

【財源内訳】 県社協助成金：70千円

貸付事業償還金：202千円

【効 果】

1. 貸付や食材提供等を実施することにより、当該世帯が経済的自立や社会参加の促進等をはかることで、安定した生活を送れるよう支援します。

ウ 地域総合相談（心配ごと相談・法律相談）

広く村民の日常生活上の悩みや心配ごとに対応する相談窓口を設置し、適切な情報の提供に努めます。また、多様化する相談に対し、相談員の資質向上に努めるとともに、行政機関など関係機関との連携を図り、村民にとって信頼感と親しみある

相談窓口の運営に努めます。

【内 容】

- ① 心配ごと相談の開設（予約制） 無料
- ② 法律相談の開設（月1回）
予約制 無料（条件：村民である、又は村内通勤・通学している）

【予算額】 434千円 **【財源内訳】** 社協会費：434千円

【効 果】

- 1. 住民の抱える悩みや心配ごとを解消することで、精神的に安定した生活を送ることが出来ます。

(3) 在宅福祉サービスの利用支援

ア 配食サービス事業

ひとり暮らし高齢者の食生活の改善と健康増進・安否確認を目的に、ボランティア・民生委員等の協力を得て、手作りのお弁当を月2回お届けしています。

【内 容】

- ① 配食サービスの実施
※対象者＝おおむね70歳以上で、見守りが必要なひとり暮らし高齢者

【予算額】 919千円

【財源内訳】 共同募金配分金：489千円 善意銀行：430千円

【効 果】

- 1. 手作りのお弁当を配達することで、ひとり暮らし高齢者の食生活の改善と健康増進および安否確認をすることができます。

イ 外出支援事業

在宅で生活する高齢者や障害者等で福祉用具を必要とする方に対し、車イスを貸し出し、生活を支援します。また外出支援として、福祉車両（車椅子用スロープ付車両）を貸出します。

【内 容】

- ① 福祉機器（車イス）の貸与（無料）※介護認定を受けていないこと 最長1ヶ月
- ② 福祉車両の貸与（有料）※介護認定の有無は不問
1日500円＋走行距離（km）×14円

【予算額】 63千円 **【財源内訳】** 利用料：53千円 社協会費：10千円

【効 果】

- 1. 福祉機器の貸出により、利用者の行動範囲が広がることで、利用世帯の生活の質の向上および社会参加の促進をはかることができます。

2. 在宅介護事業・障害福祉事業

(1) 指定居宅介護支援事業所の運営

ア 居宅介護支援事業（介護保険事業）

【内 容】

介護保険制度による介護サービスを受けるとき必要となる、介護サービス計画（ケアプラン）の作成、相談、申請代行、サービス調整等を行います。医療・保健・福祉サービスを総合的・効果的に利用できるよう提案し、在宅で質の高い生活が営めるよう支援します。

【予算額】 14,421千円

【財源内訳】 居宅介護支援介護料：13,035千円

介護予防支援介護料：1,386千円

(2) 指定通所介護事業所の運営

ア 通所介護事業（介護保険事業）

美浦村デイサービスセンターで、食事や入浴、排泄の介助、個別機能訓練、レクリエーションなどの各種サービスを提供し、利用者の心身機能の向上をはかります。また、日中にお預かりすることで、家族の身体的・精神的な負担軽減をはかります。

【予算額】 55,743千円 【財源内訳】 介護報酬：45,261千円

介護負担金：5,335千円

サービス利用料：5,147千円

イ 美浦村介護予防・日常生活総合事業「通所型サービスA」

【半日型 ミニデイサービス】（村受託事業）

村内在住の要支援者及び第1号事業対象者の方を対象とし、個別の計画に基づき、その有する能力に応じ、可能な限り居宅において自立した生活が営むことができるよう、生活の質の確保及び向上を図るとともに、安心して日常生活を過ごすことができるよう支援します。社会福祉協議会の専門職による運動機能向上、栄養改善、口腔機能向上等のプログラムを実施し、目標達成をはかります。

【予算額】 1,215千円 【財源内訳】 受託：1,152千円

利用料：63千円

ウ 地域生活支援（日中一時支援）（村受託事業）

デイサービスセンターで障害者等の日中における活動の場を確保することで、その家族の就労支援若しくは一時的な休息を目的に支援します。

【予算額】 666千円 【財源内訳】 介護報酬：594千円 利用料：72千円

(3) 指定訪問介護事業所(居宅介護事業所)の運営

ア 訪問介護事業(介護保険事業)

介護の必要のある方へ、訪問介護員(ホームヘルパー)が訪問し、自立した日常生活が送れるようサポートします。食事介助・入浴介助・排泄介助等の身体介護や、炊事や洗濯、掃除などの生活援助を一人ひとりの身体の状態に応じ提供し、自立支援に取り組みます。

【予算額】 4, 977千円

【財源内訳】 介護報酬：4, 531千円 介護負担金：446千円

イ 居宅介護・重度訪問介護事業(障害者総合支援法事業)

介護の必要な障害のある方へ、訪問介護員(ホームヘルパー)が訪問し、自立した日常生活が送れるようサポートします。食事介助・入浴介助・排泄介助等の身体介護や、炊事や洗濯、掃除などの生活援助を一人ひとりの身体の状態に応じ提供し、自立支援に取り組みます。

【予算額】 1, 570千円 【財源内訳】 介護報酬：1, 570千円

(4) 美浦村自立支援センター「ホープ」の運営

ア 就労継続支援B型事業(障害者総合支援法)

通常の事業所に雇用されることが困難である方に対して、就労の機会の提供及び生産活動の機会の提供、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練・支援を行います。また、一般の企業等で就労する施設外就労を行い、障害を持つ方の就労が推進されるよう支援を行います。

【予算額】 27, 546千円

【財源内訳】 自立支援費等：25, 623千円 授産事業：1, 800千円

その他：123千円

イ 相談支援事業(障害者総合支援法)

障害を持つ方の生活や支援に関する相談に応じるとともに、関係機関と連携し、安心して生活できる地域の支援体制をつくることを目的として、今年度より専門の相談員を1名配置して相談支援事業を開始します。

【予算額】 500千円

【財源内訳】 自立支援費等：494千円 その他：6千円

3. 指定管理事業

(1) 老人福祉センターの管理受託

村老人福祉センター（木原150-2）の管理運営業務を受託し、センターの持つさまざまな機能を活用し、地域住民の福祉活動の拠点となるように努めます。

(2) 自立支援センターの管理受託

村自立支援センター（木原150-2）の管理運営業務を受託し、事業の推進と施設機能の有効な活用に努めます。

(3) デイサービスセンターの管理受託

村デイサービスセンター（受領1546-1）の管理運営業務を受託し、事業の推進と施設機能の有効な活用に努めます。

社会福祉協議会の法人所在地は、当該施設となっています。

4. 会務運営

(1) 理事会の開催

社会福祉協議会の意思決定機関である理事会運営が、円滑に行われるよう、適切な会議の開催に努めます。

(2) 評議員会の開催

社会福祉協議会の議決機関であり、事後的に法人運営を監督する役割を果たす評議員会運営が円滑に行われるよう、適切な会議の開催に努めます。

(3) 監事会の開催

透明な会計業務に徹し、公平な監事会運営を行います。

5. その他の事業

(1) 茨城県共同募金会美浦村共同募金委員会

「赤い羽根共同募金」および「歳末たすけあい募金」を推進するため、円滑な募金活動に取り組みます。

本年は、街頭募金活動や広報活動を充実させ、昨年以上の実績確保に努めます。